

## 新得発電所建設計画の概要

当社は、低炭素社会の実現に向けた方策の一つとして、水力発電を含めた再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取り組みを進めています。

現在の上岩松発電所（1号）は、1956年に新得町の十勝川水系十勝川の上流域に建設した水路式の発電所で、運転開始から60年が経過しており、老朽化により水車・発電機の更新が必要となっています。

新得発電所建設計画は、老朽化した上岩松発電所（1号）を廃止するとともに、流用可能な既設設備は極力活用した上で、これまで利用していなかった融雪期等の上岩松取水堰からの放流水を有効活用することにより発電電力量を増加する計画であり、環境負荷低減ならびに未利用の再生可能エネルギーの有効活用に資するものです。

本計画により、既設上岩松発電所（1号）に比べ発電電力量は年間約20,000MWh（一般家庭約6,400軒分<sup>1</sup>）増加すると想定しており、年間約6,800トンのCO<sub>2</sub>排出量削減効果<sup>2</sup>を見込んでおります。

- 1 標準世帯の消費電力については、「260kWh/月（従量電灯B，契約電流30A）」としている。
- 2 CO<sub>2</sub>排出原単位については、当社グループの2010年度実績「0.344 kg-CO<sub>2</sub>/kWh」としている。

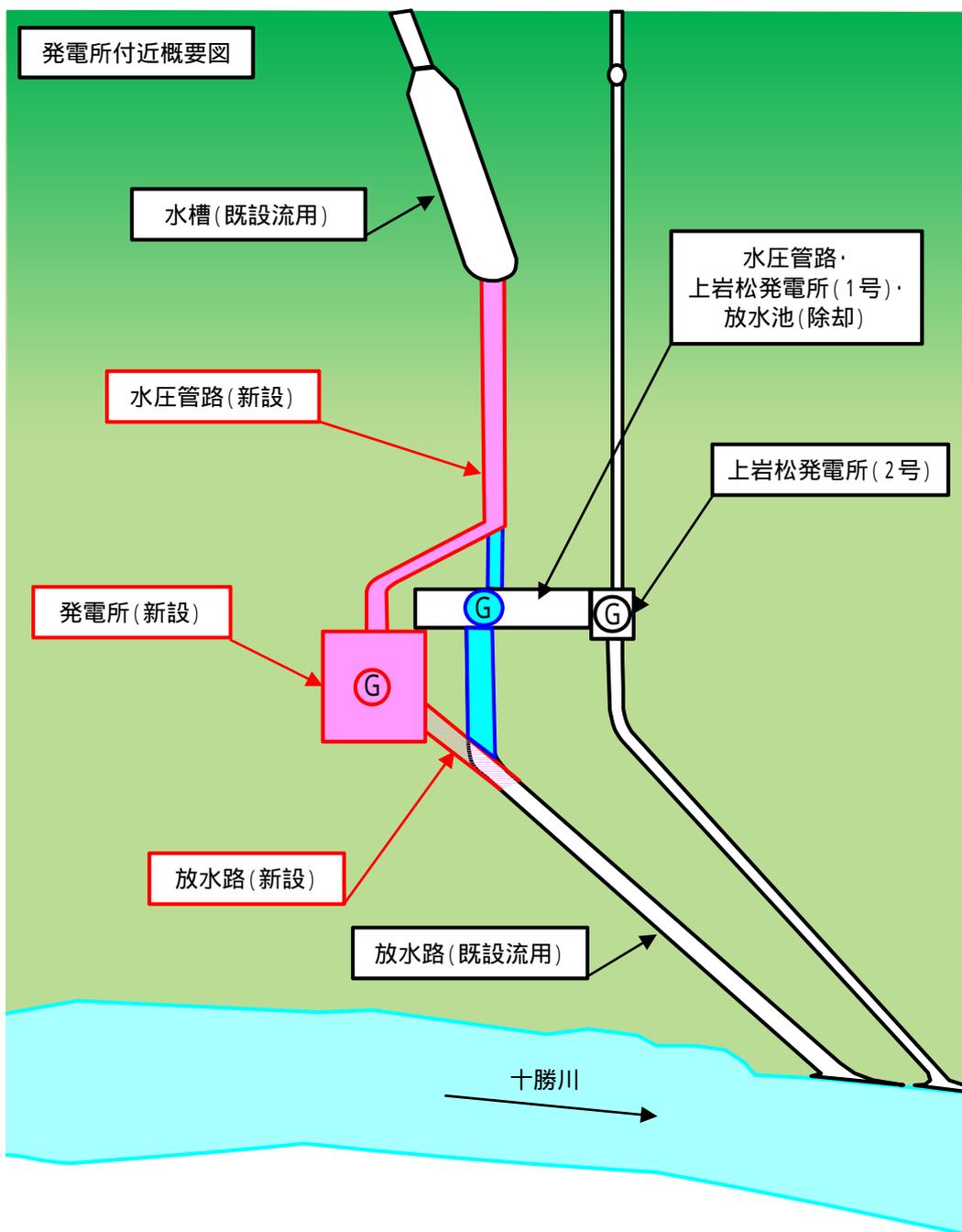
	【既設】上岩松発電所（1号）	【新設】新得発電所
所在地	上川郡新得町	
水系及び河川名	十勝川水系 十勝川	
発電方式	水路式	
最大使用水量	28.60 m <sup>3</sup> /s	31.80 m <sup>3</sup> /s
最大出力	20,000kW	23,100kW
工事着工	-	2018年12月（予定）
営業運転開始	1956年8月 （2020年11月廃止予定）	2021年8月（予定）

以上

< 新得発電所位置図 >



< 新得発電所建設計画計画図 >



以上